

2. ごみ 資源 プログラム ⑩

屋 外
+
室 内

エコロジイイベントを開催しよう

ねらい

「環境」をテーマにしたイベントを企画し、ごみをできるだけ出さないイベントの運営方法を計画、実践、事後評価を行う。さらに、これらの課題や改善点に気づき、見直しを行うことで、環境にやさしいイベントのステップアップにつなげる。

問いかけの例

イベントや仕事の中で、環境について考える問いかけを行う。

- 「環境」をテーマにしつつ、興味を引くようなイベントになりましたか？
- 進行がスムーズで、ごみを出さないように工夫した運営ができましたか？

ごみ

手 順	内 容
導 入	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者に「問いかけ」を投げかける。 ・安全や環境への配慮について説明する。
展 開	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者をグループに分ける。 ・企画書の内容を考え、ワークシート①に記入する。 ・ごみの量と種類を予測して、ワークシート①に記入する。 ・企画書とごみの予測について、グループで発表する。 ・発表を聞き、一番良かったグループを決め、そのグループの企画書をもとにイベントの準備を行う。 ・ワークシート③を見ながら、計画の立て方を学ぶ。 ・ワークシート①に、準備からイベント当日までに発生したごみの量を記録する。 ・ワークシート②に、ごみ予測と対策についての評価と結果報告を記入し、発表する。
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート②を用い、振り返りを行う。 ・プログラムを経験して、私たちができることを考え、意見・感想を聞く。

準備するもの
(☑で確認)

- ワークシート①～③（コピー） 筆記用具

安全のために・環境配慮

- 安全のために（P14）の、事前の準備、環境ごとの安全管理を必ず確認すること。
- 環境配慮事項（P15）の、ごみについて、環境ごとの環境配慮を必ず確認すること。

ワークシート①

（コピーして使ってください）

企画書を作ってみよう

- ・エコロジーイベントの企画を練ってみよう。
- ・いつ、どこで、どんなことをするかを、書いてみよう。
- ・役割分担、準備するもの、タイムスケジュールを作成しよう。

企画書

- イベントの目的：
- いつ：
- どこで：
- 参加人数：
- イベント内容：

- 役割分担：
- 準備するもの：
- タイムスケジュール：

予想されるごみの量

イベントでゴミが発生する場所や量を予測し、対策を練ろう。

イベント名	ごみの種類	発生原因・発生場所	重さの予測 (kg)	減らす方法

※イベントの規模を事前に決めておき、大まかに予測する。

実践！エコロジーイベント

- ・イベント会場をまわり、ゴミが正しく捨てられているか、ポイ捨てゴミが落ちていないか把握し記録しよう。
- ・ゴミが捨てられている状況を把握しよう。

イベント名	ごみの種類	発生場所	重さ (kg)	ごみの状況

ワークシート② （コピーして使って下さい）

イベントを終えて、評価と結果報告

発生したごみが予測通りだったか、想定外のごみはあったかを検証し、削減達成率を評価しよう。

$$\text{削減達成率（\%）} = \left(\frac{\text{重さの予測}}{\text{重さの結果}} \right) \times 100$$

ごみの種類	重さの予測 (kg)	重さの結果 (kg)	削減達成率 (%)	評価 (1~5)、(○×△) など
イベントの結果発表をしよう				

ごみ

振り返り

次回のイベントに向けての改善点はありますか？

イベントの準備や、開催の作業をする上で、環境への配慮をどのようにしましたか？

やってみよう

- 同じプログラムを、「エネルギー」「水」「自然」を中心に考えてやってみよう。
例：「CO₂排出を少なくする・・・」、「水を汚さない（使いすぎない）・・・」など。

もっと知りたい



環境省 環境に配慮した事業活動の促進 (HP)
ISO14001 や PDCA サイクルについて調べることができます。



環境省 カーボン・オフセット (HP)
カーボン・オフセットについて調べることができます。

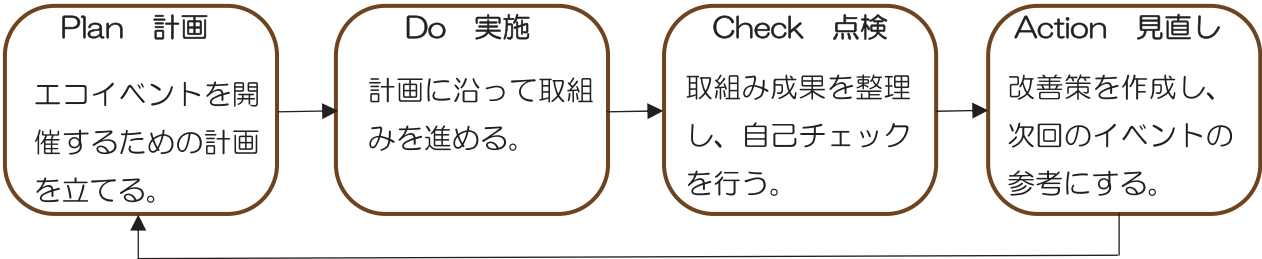


3R 推進協議会 (HP)
3Rについて普及活動を行っている協議会のHPです。

ワークシート③ （コピーして使って下さい）

PDCA サイクル

PDCA サイクルとは、Plan（計画）→Do（実施）→Check（点検）→Action（見直し）の4つのプロセスを繰り返す行うことで、継続的な改善を図っていく方法のこと。エコイベントを継続的に行う際もこのサイクルに沿ってステップアップを目指そう。



ごみステーション（エコステーション）



ごみを種類別に分別して捨てることのできるごみの集積場を、ごみステーション（エコステーション）という。ごみステーションを設置し、スタッフを配置する事で、発生するごみをできるだけ分別回収し、リサイクルを進めるとともに、来場者へ分別回収の呼びかけや実践を行うことができる。

写真提供：J-POWER[電源開発(株)]石川石炭火力発電所

リユース食器

イベントで使う使い捨て食器の削減のために、再利用できる食器を利用する。沖縄では、エコマール那覇プラザ棟で、平成12年からリユース食器の貸し出しを行っている。（有料）



引用：エコマール那覇プラザ棟ホームページより

ごみ

講師用資料①

ワークシート①回答例

<ポイント>

- ・実際にイベントをやらなくても、企画書、予想されるごみの量を考えるのも良い。
- ・企画書は、別紙を使って好きなように書いてもらう。
- ・企画書の内容とごみ予測を踏まえて、10分程度で発表できるようまとめる。

企画書を作ってみよう

- ・エコロジーイベントの企画を練ってみよう。
- ・いつ、どこで、どんなことをするかを、大まかに書いてみよう。
- ・役割分担、準備するもの、タイムスケジュールを作成しよう。

企画書

- イベントの目的：人々に〇〇を伝える
- いつ：××年〇月×日
- どこで：××市〇〇・・・〇丁目〇番〇号 _____
- 参加人数：〇〇人
- イベント内容：「実践！エコロジークッキング～ゴーヤーチャンプルー定食から環境学習～」
- 役割分担：責任者、企画、広報、進行、会計、開場設営
- 準備するもの：ゲームに使う小道具、調理器具（借用？）・・・等
- タイムスケジュール：※・・・月・・・日（〇日前）までに何をやるという書き方

予想されるごみの量

イベントでごみが発生する場所や量を予測し、対策を練ろう。

イベント名	ごみの種類	発生原因・発生場所	重さの予測 (kg)	減らす方法
エコロジークッキング	生ごみ	当日の調理にて発生	5kg	調理する分量を調整
	容器・包装	当日の調理にて発生	0.5kg	過剰包装をされているものは避ける
	皿、コップ、はし	当日の調理にて発生	0.5kg	再利用できるものを選ぶ

※イベントの規模を事前に決めておき、大まかに予測する。

実践！エコロジーイベント

- ・イベント会場をまわり、ごみが正しく捨てられているか、ポイ捨てごみが落ちていないか把握し、記録しよう。
- ・ごみが捨てられている状況を把握しよう。

イベント名	ごみの種類	発生場所	重さ (kg)	ごみの状況
エコロジークッキング	生ごみ	当日の調理にて発生	8kg	余ったものがあった
	容器・包装	当日の調理にて発生	0.5kg	予想どおりだった
	皿、コップ、はし	発生しなかった	0kg	再利用できるものを使った

講師用資料②

ワークシート②回答例

＜ポイント＞

- ・評価は、「ごみの予測と削減」がうまくいったかどうかで評価する。
- ・振り返りは、ワークシート③のPCDAサイクルの考え方を参考に「次回もイベントを行う」前提で考えてもらう。

イベントを終えて、評価と結果報告

発生したごみが予測通りだったか、想定外のごみはあったかを検証し、削減達成率を評価しよう。

$$\text{削減達成率 (\%)} = (\text{重さの予測} \div \text{重さの結果}) \times 100$$

ごみの種類	重さの予測 (kg)	重さの結果 (kg)	削減達成率 (%)	評価 (1~5)、(○×△) など
生ごみ	5	8	62.5	3
容器・包装	0.5	0.5	100	○
皿、コップ、はし	0.5	0	—	◎

イベントの結果発表をしよう

エコロジークッキングのイベントは、参加者に環境について新しい発見があったようで好評だった。ごみについては、こちらでも十分な対策を行ったつもりだったが、まだ予測の甘い部分があったような気がした。

振り返り

次回のイベントに向けての改善点はありますか？

準備したものの一部が使われなくても、ごみとして出さないような工夫をしたい。調理する量をかなり少なめにして、それでも調理したものが余ったら持って帰ってもらうなど。

イベントの準備や開催の作業をするうえで、環境のことは考えられましたか？

今回は、準備期間が不十分なままイベントの開催までできてしまい、ほかの事で忙しかったのもあって環境についてはあまり考慮できなかった。しかし、皿やコップ、はしは借用できた。